

ミヨシ電子株式会社 広島事業所 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ミヨシ電子株式会社 広島事業所

(2) 事業所の所在地

広島県 三次市 東酒屋町306番地

(3) 業種

2814 集積回路製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、平成26年度から平成28年度までの3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
			平成 25 年度	平成 28 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO2	9,253									
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量										
実績に対する 自己評価										

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 売上高(億円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
			平成 25 年度	平成 28 年度	平成 26 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
エネルギー 起源CO2	49.9									
		47.4	49.1							
		5.0	2.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類										
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	13,765									
		100.0	4.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.5561									
		0.5394	0.5469							
		3.0	2.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価										

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	C02排出量の削減 (生産時C02削減)	動力設備の省エネ、製造現場の効率化及び省エネにより、2013年度比売上高原単位で2016年度に5%削減する。	省エネ機器の導入 老朽化設備の更新 設備メンテの計画的な実施 省エネ啓発活動の実施 デマンド管理の運用と制御
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	D f Eの取組み推進	平成26年度までにアセスメントによる製品の改善率を100%とする。	アセスメントによる製品の改善
2	グリーン調達推進		環境配慮サプライヤーとの取引を推進する。
3	ステークホルダーへの積極的な情報提供		環境報告書の内容の充実、改良
4	地域貢献		1回/年の工業団地内清掃の計画・実施 地域清掃活動への参加
5	リサイクル率の維持	リサイクル率90%以上を維持する。	廃棄物の細分別化 廃棄物のリサイクル化推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。